

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|--------|------|---|---|
| 防災 | 1 | 引っ越してきた方などへのイエローカードは役場へ行けばもらえるか。 | イエローカードは十分用意してあります。自治会に加入されていない方でイエローカードが届かないという問い合わせが5、6件ありましたが、すぐにお渡ししました。 |
| 防災 | 2 | 防災かまどベンチはレンガを積みば簡単にできる。地域交流センターの庭にかまどベンチを作るなど考えるべきでは。昨年、池田工業高校では簡単な物を製作していた。皆で作る機会をうまく活用することが大切。 | 現在、防災備品の最終的な選定をしています。まずは町の備蓄として検討します。 |
| 防災 | 3 | 柵ノ尾の道下に防災行政無線の屋外スピーカーがあるが、広津交流センターの敷地内に移設できないか。そこにあれば楡室や平出まで音が届く。 | 経費面を考慮しながら前向きに検討します。 |
| 防災 | 4 | 地域交流センターは災害時の避難場所になるか。 | 避難場所として予定しています。 |
| 防災 | 5 | 陸郷は特異な地形のため、大災害が起きた場合、池田へ避難することは不可能。近隣市町村への避難を考えてもらわないといけな。 | 砂防の関係でマニュアルを作成中ですが、その中で取り入れていきたいと思えます。生坂村とは避難所の相互利用や道路の早期復旧など、何らかの協定を結べないか検討を始めたところです。県内では全県的に協定ができていて、いざという時には何らかの形で救助や援助が来ます。 |
| 防災 | 6 | 8月2日(土)の大雨の次の日の朝、役場に5回電話したが通じなかった。そういうときはどうしたらいいか。 | 警報が出た場合、総務課職員の一部が役場に詰めることにしています。8月2日時点では詰めていませんでしたが、10月22日の台風21号のときはいつ電話がきても対応できるよう、職員2人が一晩中詰めていました。初期の段階ではなかなか対応が難しいので、携帯電話等で対応できるよう考えていきたいと思えます。 |
| 防災・自治会 | 7 | 災害が起きたときに町は自治会未加入者を助けにきてくれるか。 | 役場職員は役場で災害対応するのが精一杯で救助に行かれません。実際救助に行くのは近所の皆さんや消防です。そういうことも自治会に加入されない方にしっかりお話していただくと、自主防災会や自治会に加入していただけないかと思えます。 |
| 防災・自治会 | 8 | 独立した自主防災会が必要か。自治会が兼ねてはいけないか。 | 多くの自治会では役員が1年で代わってしまいます。そのため、災害弱者の情報や地区の危険箇所などがなかなかうまく引き継ぎできないという問題があります。できれば自主防災会は別組織としてもらい、更にできれば固定メンバーでやっていただいた方が弊害がなくなるので、お願いした経過があります。どうしても無理であれば、地元のやりやすい形で構いません。 |
| 職員行動指針 | 9 | 池田町職員行動指針が示されているが、行動スローガンに基づいて職員が一生懸命頑張っているようにみられない。みられるような職員教育をしてほしい。 | 研修は今年から3年間の計画に沿ってやっていくようにしました。住民ニーズは複雑、多様化、高度化してきていますので、それらに応えられるような職員になるように、行動指針と併せて職員研修もしっかりやっています。 |
| 総務 | 10 | 町の広報紙や発行物は横文字が非常に多くて、何を意味しているかわからない。注釈を入れてもらえるとうれしい。 | 以前にもご指摘があり、横文字はなるべく使わないように気をつけていましたが、国から横文字の政策などが来ると、そのまま流用してしまうことがあります。もう少し噛み砕いた表現にしたり注釈をつけるなどして配慮していきます。 |
| 総務 | 11 | 役場職員の人事異動後の氏名公表が広報いけだでされなくなってしまったが、何か問題があるのか。 | 人事異動の公表をどこまで出すか議論になりました。個人情報なのでやめてもらいたいとの意見があり、それを尊重しました。これについては持ち帰り検討します。⇒検討した結果、公表は控えることにしました。 |
| まちづくり | 12 | 洪中公民館、洪南集落センターとも駐車場が砂利で、車から降ろしてスロープへ行くまで大変。舗装してほしいが財源はないか。元気なまちづくり事業の資材支給事業はなぜ使えないか。 | 両公民館とも福祉予算で補助事業により建設しましたが、外構工事は補助対象外でした。町には公民館整備のための20%の補助金もありますが、設計や外構工事は補助対象外となっています。そのようなことから、外構工事については地元負担で整備をお願いします。資材支給事業は、本来町が行うべき道路整備や河川整備などを地元の方が町に成り代わってやっていただくというのが趣旨です。外構工事は地元でやるようになっていきますので、資材支給事業の趣旨には合いません。どうしてもということであれば要綱を変えていく必要があります。ここで結論は出ませんので持ち帰らせていただきます。⇒検討した結果、公民館の外構工事は資材支給事業の補助対象外であることを再確認しました。 |
| まちづくり | 13 | 施政方針には項目がたくさん並んでいるが、それぞれのセクションで具体的にどういう考え方や計画で進めているか。ある時点で進捗状況とその過程での課題等に対応して、より消化度を上げていく対策はあるか。 | それぞれの項目は具体的な計画により動いています。予算という形で政策に反映されていますが、細かく出すとすごいボリュームになってしまいますので、今回は項目だけにしています。検証は総合戦略の審議会で進捗状況を報告し、議会にも報告しています。決算時には成果説明という形で1年間やったことをデータとしてまとめ議会に出しています。厚い書類で一般向けの公表はしていませんので、今後公表の仕方を考えてわかりやすい形で町民の皆さんにみてもらえるよう検討します。 |
| まちづくり | 14 | 昨年、坂下では元気なまちづくり事業の資材支給事業により道路工事を行った。万が一ケガをした場合、労働安全衛生法で捕まる。また、取り除いたコンクリートは産業廃棄物となり、うっかり交通事故を起こせばらまいてしまうと責任の所在を問われる。自治会で仕事を受けて法に抵触した場合、どこが責任を取るのか。 | 町が自治会に委託している事業ですので、町が加入している保険で賄えます。申請をいただき許可を出す際は委託書という形で出しています。今後、自治会協議会の折にしっかりお話ししたいと思います。 |
| まちづくり | 15 | 人口ビジョンは戦略的構想と捉えたが、人口が減るのがみえていたにも関わらず手だてが遅かったのではないか。後手に回っている印象を受ける。 | 総合戦略は人口ビジョンにのっとって人口増につなげるためのものです。人口ビジョンの内容は2040年までの町の人口推計が出されています。このまま人口が減り続けていくと7,000人台まで落ち込んでしまうだろうと予想がされています。これに歯止めをかけるため、移住定住施策を10月からスタートしたところです。人口増減は自然増減(出生と死亡)と社会増減(転入と転出)があります。出生数はここ1～2年で40人を切ってしまいました。死亡者は100人前後です。社会増減は高齢の方が転入し若い方が転出する傾向にあります。移住定住施策で若い世代の転入者を増やし、特に空き家対策や住居施策にも踏み込み、町民の方も対象にして転出予防策を図っています。こうしたものはすぐに結果が出るものではありませんので、後手に回った感がありますが今後の動向にも注視していただけたらと思います。 |
| まちづくり | 16 | マラソンやコンサートなどはすべてなくなってしまった。イベントは人口増や産業発展に寄与しないものなのか。今後の展開は。 | 池田町に訪れて知ってもらうにはイベントは大きな効果があります。来たときに気に入っていただき、リピーターになり、いずれは定住していただく、あるいは口コミで広がっていくのも大きな効果があると思えます。イベントは各種団体の皆さんからご協力いただき開催してきましたが、スタッフも高齢化になり運営が難しくなったというのが本音です。 |

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|-------|------|---|---|
| まちづくり | 17 | まちづくり懇談会の前半の様子をホームページで見たが、8回開催した際に出た意見は披瀝して、後半は同じ質問が出されることのないようにすればよかったのではないかと。 | 質問意見とその回答をまとめた物は各自治会長様宛には送付してあります。 |
| 土地利用 | 18 | 人口が増えないのは住宅地がないからではない。土地はいくらでもある。今後の政策として農地として残したほうがいいか、農振をはずして住宅地として活用したほうがいいか、もう少し流動的に対応してほしい。 | 農振除外は個々の申請で1件ずつしかやっていないため、大規模な住宅造成にはなりません。今後、産業振興課と農政課とで連携を取りながら、政策によって外していきけるような町づくりを計画しています。これは期間を要しますので、しばらくお待ちください。 |
| 土地利用 | 19 | アルプスが見える東山の高台に住みたいという人がたくさんいる。現状は。 | 問い合わせ件数は非常にあります。景色は良いのですが、場所によっては地すべりエリアに指定されており、簡単に建てられる場所ではないところもあります。一大造成地は難しいところです。 |
| 移住定住 | 20 | 空き家を借りて直しながら住んでいるが、直しきれない。空き家バンクまたは他の補助金を利用できないか。 | 中古物件でも新築物件でも補助金は出ます。借りたい方は空き家バンクに登録すると改修費に補助金が出ますが、その時1回限りです。既に住んでいる方が改修する際は対象となりません。以前、3年間ほどリフォーム補助金を実施しましたが、それは建築業者の活性化がメインでした。リフォーム内容は屋根の塗装や外壁の塗り替えなどが多く、町が想定していた改修はあまりありませんでした。今のところ、リフォーム補助金の復活は考えていません。なお、借りている人が直すとすると、仮にリフォーム補助金が復活したとしても利用できません。 |
| 移住定住 | 21 | 独居高齢者が亡くなり空き家になっているところがある。子どもが継ぐが住むわけではない。そうした空き家を町で仲介してもらえないか。 | あくまでも貸すのは所有者の意向です。貸すことに同意していただいたところは、町で仲介して写真を撮り鑑定も行き、空き家バンクに登録となります。個人資産を町が勝手に仲介することはできません。自治会長を通じて空き家調査を行いました。空き家は確かにありましたが、皆さん諸事情があり、貸し出すまでに至らないのが実情です。 |
| 自治会 | 22 | 自治会の役員のみ手不足や仕事の関係で行事に参加できないなど、今までと同じやり方ではうまくできないと感じている。よその町でも同じ問題が起きていると思うので、いい対策を情報収集してもらえるとありがたい。 | 自治会に入ってもらえないのがこの地区でも悩みとなっています。松川村と大町市は20%くらい自治会に入っておらず、白馬村に至っては50%を切るかもしれないと言われています。対して小谷村はほぼ100%入っています。移住者が増えると自治会に加入してもらえない問題が起こり得ます。地元に移住者の相談役がいて、対話の中で自治会に入ってもらおうようにしてはどうかという構想もありますが、相談役のみ手の困難さがあります。役員は毎回同じ人がなる傾向にある地区もあり、地区内の組織の再編成なども話題となっています。 |
| 自治会 | 23 | 町からの配布物がいろいろあるが、例えばタブレットを全町民に配るなどして、それで見てもらうやり方はどうか。 | タブレットは金銭面の問題と、高齢者が操作できるのかという問題があり、実現は困難です。 |
| 自治会 | 24 | 自治会に入らない場合はどうなるか。配布物はどうなるか。 | 義務付けは難しく、入らないペナルティを課すことはできません。地域によっては、ごみ集積所は町から補助金をもらって自治会で建てたので、自治会に入らないとごみ集積所を使てはいけないう厳しいところもあります。配布物は町に申し出ただくと専用の棚を設けますので、役場まで取りに来ていただく形になります。一番の問題は災害時にどうしようもなくなってしまうことです。町としては知らないというわけにはいきませんので、まず自主防災会には入っていただき、そこで馴染んでもらえれば自治会の意味合いもわかり、その後自治会加入していただけるのではないかと思います。 |
| 自治会 | 25 | 自治会に入ってもらうためにどんなことをしているか。 | 住民課で転入手続きをされる際に、自治会加入の案内チラシを配布しています。 |
| 自治会 | 26 | ある方が自治会加入等のことで役場へ相談に行ったところ、ある職員に「自治会加入は任意だ」と言われ、ごみは「出して結構です」と言われたとのこと。ごみ集積所は自治会で管理しているので、そのように言われてしまうと、どう対応したらいいか困惑する。 | 自治会加入は義務付けられていないため、任意と返答した可能性があります。ごみは基本は自治会ベースです。職員の対応を統一させていただきます。 |
| 自治会 | 27 | 自治会パートナーの役割がよくわからない。自治会からパートナーに来てくれということなのか、パートナーが自治会に働きかけて何かあったらやりますということなのか。パートナーの出来によってはMVPくらい出してほしいと思う。町が良くなるのは自治会活動の積み上げしかない。自治会活動が良くなると町全体が良くなる。 | 自治会パートナーは各自治会に概ね2~3人配置しています。自治会パートナーの任務は、①自治会の実情を理解すること ②自治会の活動及び運営への支援並びに課題解決に向けての協力に関すること ③自治会が取り組む「元気なまちづくり事業」について必要な協力を行うこと ④その他必要な事項 となっています。単なる事務補助や御用聞き等は想定していません。 |
| 自治会 | 28 | 鶴山には、緞帳の上に付いているような「マーク」があるが、南台にはない。以前、広報担当者に自治会のマークの有無を調べてみてはと提案したが、一笑に付された。自治会員の中でどんな特技を持っているかは、イベントをやってみないとわからない。マークを作るというイベントをやるだけでも、デザイン力のある人が見つかるなど発見はあると思う。半在家や南台で文化祭を行っているように、自治会単位のイベントをやる機会を設けたほうがよいと思う。 | 違う世代が自分たちの地域を見直すことはとても大事ですので、自治会協議会の中で事例として紹介させていただき、活動の新たな方向性を人材育成を含めた中で地域の話題提供となるよう呼びかけてみたいと思います。 |
| 環境 | 29 | 広報をどのくらい読んでいるかアンケートを取ってみたいほうがいい。池田町はごみが多いという話なので、回覧で回せるものはなるべく回覧にしてほしい。そうすればごみも減ると思う。 | ごみは紙類のほか、生ごみも大きなウエイトを占めています。行政自らごみを減らす努力をしていきます。 |
| 環境 | 30 | 高瀬橋南は生ごみを処理できるようところがない。どこの話かはわからないが、3軒集まればごみを取りに来てくれるというところがあるらしい。 | 人口規模がほぼ同じ松川村のごみ集積所数は、池田町の2分の1ほどしかありません。ごみ集積所が多いと収集業務の委託料も高くなります。池田町では自治会がごみ集積所を設置し、町が補助金を出す形となっています。自治会未加入の方が有志でごみ集積所を造る制度はありません。自治会未加入の方のごみ出しの対応はまちまちですが、自治会の中にはごみ集積所の清掃料を払えばごみ出しを許可しているところもあります。 |
| 環境 | 31 | 自治会未加入者のごみはどうするのか。 | 公共施設のごみ集積所に持ってくる方がほとんどです。中には通勤途中の通りすがりの全然違う自治会のところに置いていってしまう場合もあり、分別ができていなかったりもするため深い問題です。町としては誰が出したか特定できないと指導もできないのが現実です。 |

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|-------|------|--|--|
| 環境 | 32 | 自治会未加入者が自治会管理のごみ集積所にごみを出した場合、どうしたらよいか。 | ごみ袋に名前が書いてあって、自治会に入っていないことがわかっていれば、できれば自治会のほうで指導していただくとありがたいです。 |
| 環境 | 33 | 自治会未加入者のごみ出しの方法を広く周知してほしい。 | 周知の方法はまた検討させていただきます。 |
| 環境 | 34 | ごみ集積所は役場から補助が出るというが、自治会加入の有無に関わらず出るのか。 | 自治会申請であれば1箇所当たり改修に要する経費の3分の2以内、10万円を限度に補助がありますが、自治会未加入者が個人的に集積所を設置しても補助金は出ませんし収集も行いません。自治会管理内ですので、自治会未加入者のごみを置いては困るというのは、正当な周知が必要だと思います。 |
| 交通 | 35 | 地域交通は町の差し迫っている課題だと思う。究極は激安タクシー。民間がやり出すともめるので、町が矢面に立ち実施していかないとまうかない。地域のボランティアの活用や地域で事業を起こして運営するなど方法はある。住民が求めているのはドアからドア。バスは成り立っていかないとと思う。 | 町営バスは6路線7台で運行しています。本数を増やしてほしいとの要望もありますが、折り返し運転をしている中では、今のダイヤが限界です。地域交通の充実には、福祉タクシー・福祉バス等、必要に応じて乗れる交通や、デマンド型やクラウド型等、予約型の交通も検討する必要がありますので、近隣市町村の好事例を参考にしながら関係課と協議していきたいと思っています。 |
| 交通 | 36 | 中島のゲストハウス前の県道に大量の車が駐車していることがある。警察に相談したところ、一時はよくなったがまた並ぶようになってしまった。ダンプが通るので危ないし、観光客の車もよく通る。何かあってからでは遅いので、警察に相談してもらえないか。 | 警察にその事実を伝え、指導やパトロール等してもらえるよう要請します。 |
| 住民 | 37 | ワンルームマンションがたくさんできたが、入居者は必ず住民登録しているか。 | 池田町に転入された方は住民登録しているはずですが、住民登録されずに住んでいる方はこちらでも把握できません。 |
| 福祉 | 38 | やすらぎの郷の駐車場が狭いので、駐車場確保をお願いしたい。 | わでまちホールのある場所を町で取得し駐車場にしますので、そちらもご利用ください。 |
| 福祉 | 39 | 高齢化や自治会のあり方についてアンケートを取った。いろいろな意見があったが、高齢化社会に向けていい例などあったら教えてほしい。 | 社協ではサロン活動を行っています。高齢で独居の方は認知症が進みやすい傾向にありますので、定期的に地区の公民館などに集まっていたり、皆でおしゃべりしたり食事をしたりしています。地区によっては「ふれあい会」という組織があり、高齢者向けのお楽しみ会などを行っています。 |
| 農政 | 40 | ワイナリーは町で造るのではなく民間の方が造る。ワイナリーの構想を持って栽培している方もいる。安曇野市や大町市とともに広域のワイナリー特区を早期申請すれば、それに応じた形でワイナリーもできると思う。 | 町営でのワイナリー運営は今のところ考えていません。民間でやりたい方を育て、やっていただくために、池田町、安曇野市、大町市の2市1町で来年1月の特区申請に向けて準備をしています。ワイナリーをやっていただく方を呼ぶにはほ場も必要です。ワイン特区は一つのPRになると思います。 |
| 農政 | 41 | ワイナリー構想のソフト面はどう考えているか。醸造家が池田町に住んでいないと意味がない。 | ワイナリー構想は、今後どのような形で進めるか現在検討中です。ワイナリーをやるには醸造家がいないと酒造免許の許可が下りません。経費はかかってしまいますが、酒造免許を持っているコンサルタント業に委託するという方法もあります。町としてはワイン特区を取り、池田町でワイン用ぶどうを作って自分で醸造したいという方々を支援していく方法がベストと考えます。ソフト部分の支援を今後検討していきます。 |
| 農政 | 42 | ワインを作るだけでは意味がない。レストランで提供するなどして人を集めなければいけない。シカやイノシシなど害獣駆除した肉はどうなっているか。ジビエの処理方法によっては人が来てくれるのではないか。 | ワインとジビエ、そして農産物をセットにして観光客や地域の皆さんに提供できれば一番良いと思います。池田町で野生鳥獣を処理しているのは、ほとんど猟友会の皆さんです。大町市美麻に共同加工施設がありますが、そこに出すだけの量を取りきれない状況です。ワインやジビエは観光及び地元産物の販路拡大まで結びつけられると考えています。 |
| 農政 | 43 | 【猿問題に関して出た意見等】 猿はかなり凶暴になってきている。屋根瓦を取ったり、こちらが威嚇するとアタックしてこようしたり。 家のおばあさんは猿のせいで一気に元気がなくなりました。 猿問題は半端な問題でなく大きな問題。車を傷つけたりワイパーを取ってしまったりする。 電気柵をやっていない畑の作物は皆食べられてしまう。 猿問題を「あなたたちの問題」と捉えている感がある。 はっきりいって危ない。葛温泉の猿とは目が違う。 80~100匹ぐらいになっていて、グループに分かれている。減るわけがない。ちょっと捕ったりするぐらいでは効果がない。 軽く聞いてほしくない。本気で考えてほしい。 猿が来たら怖くて家の周りから出られない。車で帰宅した際も周りに猿がいると車から降りられない。 追い払いなどとてもない話。追い払えない。花火も効かない。 広津への定住希望者には、冬が大変なことと動物が出ることは言っておかないといけない。 広津の市民農園には電気柵を設置してあるが、猿は横の電柱を上って農園に入ってしまう。 おりを設置すると観光客が文句を言う。 頭数が増えているので、おそらく何年もしないうちに下へ降りると思う。 ぶどう畑などに行ったら一発でやられてしまう。 | 猟友会の皆さんには、通年くくりわなを仕掛けながら猟期には捕ってもらっています。現在、活動しているのは16人しかおらず、若手のハンター養成等も県でやっていますが、なかなか手を挙げていただける方がいません。丹精込めて作った野菜等が被害に遭うなど、申し訳ないと思いますが、現段階では少しずつ捕っていくしかない状況です。 地区の皆さんにそれぞれ追い払いをやっていただいています。猿のレベルが上がってきてしまっています。 猿は宮本の仁科神明宮から来ます。以前は1日で帰っていましたが、2日間居座るなど滞在期間が長くなってきています。 10年くらい前、最初に法道で猿が出て、それがだんだん平出や実業などに行動範囲が広がってしまいました。 良い物を食べるようになり、病気で死ぬ猿が少なくなりました。 モンキードックを実施したり、おりを仕掛けたりしましたが、おりには入らなくなっていました。 |
| 農政 | 44 | 野生動物、特にイノシシがととも増えている。農作物の被害が今後ますます増えていくと、農作物が作れなくなってしまう。 | これといった有効策がないのが実情です。猟友会に捕獲のお願いはしていますが、減らないのが実態です。 |
| 農政 | 45 | 六次産業化は加工から販売まですべてやるという意味か。 | 生産から販売までです。特に農業関係の皆さんは販売が弱い傾向にあります。生産物を加工して商品化して販売する、そこまでやらないとメリットがありません。商工業の方々と連携もつুক্তいきたいと思います。池田町には特産品がないのが実態です。加工してでも売れるような商品を出していきたいです。 |
| 農政 | 46 | ハーブセンターの桑茶はどのくらいの売り上げがあるか。桑茶を使ったメニューは考えているか。 | 売上金額はさほどありません。桑茶パウダーとして製品化してありますが、桑の収穫がままなりません。桑の仕入れが少ないので、製品としてはあまり出ていないようです。桑の加工は難しく、製品はほとんどありません。ハーブと混ぜて飲みやすいハーブティーにする取り組みはしています。桑は健康に良いと高く評価されていますので、何とか生かしたいです。 |
| 花とハーブ | 47 | 高瀬橋のたもとにハーブ畑があるが、整備が行き届いていない。ハーブが咲くころにようやく手入れがされている状況。もう少し早めの対応を。 | 緑地としてラベンダーを植えています。今年から手を入れています。 |

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|---------|------|---|---|
| 花とハーブ | 48 | 花いっぱいコンクールの賞金は1位がたかだか3,000円。自治会の皆さんは交代で花の世話をしている。3,000円は安すぎはしないか。 | コンクールはそのような形でやっていますが、それとは別に自治会には活動のためのお金と材料代を出しています。コンクールはかつては町で審査員を選び、各集落を回って賞をつけていましたが、現在は我こそはという団体または個人から応募してもらう形にしました。 |
| 耕地林務 | 49 | 明科でぶどう栽培を行っている方々には一部、国か県から補助金が出ていると思う。池田町で開拓していく土地があったら金銭面の協力をお願いしたい。 | 安曇野市は池田町と違い、大規模なほ場整備をやる気はないとのこと。池田町境で栽培されている方々には遊休桑園解消のためのわずかな補助金をもらい、あとは自己資金でやっています。洪原から鶴山にかかる遊休桑園は、町が国の補助金を受けて今年度と来年度で解消を図る予定です。 |
| 耕地林務 | 50 | 沢の中の木を切ってほしいと今年要請したところ、県に話をしたとのことだったが見直しは。 | 沢はほとんど治山事業でやっています。流路は県で整備していただき、整備のあと木が生えたなど管理面は林務課につないでいます。工事を施工した林務課で管理してもらうようお願いしてあります。 |
| 耕地林務 | 51 | ビッグ南の東西の通学路の1本東側に水路があるが、2mに1本くらいずつ補強をかけてある。これは重機を使って泥を上げるにも支障があり、泥がたまって雑草が出ている。水路の壁がもろく、安全面からもゆくゆくは改修が必要。 | 滝沢からつながる柵渠の関係です。会染小学校から洪田見にかけてほ場整備が取り残された農地があり、ほとんどの方が担い手に貸していますが、担い手からは生産性が上がらないので返したいとの話が日々出ています。国の施策である農地中間管理事業を活用して、担い手に農地を貸し出すと受益者の負担なしでほ場整備ができます。水路や道路の整備も一緒にできます。20ha以上あると国の補助金が使えますので、また説明の機会をいただければありがたいです。 |
| 耕地林務 | 52 | 大雨により堰堤から土砂が流出してしまうのを防ぐため、浚渫(しゅんせつ)してみてもどうか。 | 黒沢、雑ヶ沢は治山事業で堰堤を入れましたが、これは土を留めるための土留め工と呼ばれるものです。堰堤に土がたまって両サイドの土を押し返しています。前ヶ沢に入れてあるのは砂防ダムは土砂を止めるためのもので、たまってくれば取り出しています。国県の考え方としては沢によって対応が異なります。 |
| 耕地林務 | 53 | 松くい虫の被害木が水路に流れて引っ掛かり、水がオーバーランすると大変。 | 水路の設計は50年に1度の大雨にも耐えられるようにしてあります。立木等が引っ掛かってしまうと簡単にオーバーフローしてしまいますので、上流から整備していかないと設計通りには呑み込めないのは事実です。 |
| 耕地林務・砂防 | 54 | ハザードマップでは洪田見は赤いところだらけ。赤い崩落地は手をつけられないか。 | 洪田見内の沢は県の治山工事で流路工を入れてあります。治山で行うのはダムではなく、土を抑えるための土留め工。上から流れてくる水を止めるものではありません。大雨の際は沢の水を監視していただき、濁った水が来ている間は危険性はありませんが、きれいな水になったときは注意していただきたいです。急傾斜地は弱者施設を中心にやっていますが、ハード部分は多額の費用がかかるため整備が進みません。今は避難を優先させることにシフトしてきています。土砂災害防止法により当面はソフト面での対応となります。 |
| 観光 | 55 | てるてる坊主アート展だけを見に行く人は少ないと思う。下駄飛ばしや草履飛ばしなど人が集まるようなことをやったらどうか。 | アート展の際は松本大学の学生にお願いしてウォータースライダーや紙飛行機を作って飛ばすワークショップ的なことを行っています。売店も出展し、家族連れなどに楽しんでいただいています。今後もアイデア等を頂戴しながら大勢の方がクラフトパークに来ていただけるようにPRしていきたいと思っています。 |
| 観光 | 56 | 大峰高原の管理棟近くのトイレは何とかならないか。 | 大峰高原は生活環境保全林として整備して45年ほど経過しましたが、水と排水の問題があります。現在は汲み取りをしています。今後、キャンプ場のトイレも含めた中で検討していきます。 |
| 観光 | 57 | 大峰高原は森さんからお借りしているという話だが、年間どのくらい払っていて、赤字か黒字かを教えてほしい。 | 町が借りているのは大カエデ周辺です。生活環境保全林を含む借料は年間380万円です。大峰はお金を払っている以上活かしたいですが、活かすには更なる整備費用が発生してしまいます。 |
| 観光 | 58 | 足湯や遊歩道がつくられたが、ハーブセンターの来場者数や売り上げに変化は出たか。 | 人が来れば売上は上がります。一時ウオーキングが人気になり、3,000人が当町に来たことがありました。そのときハーブセンターの売上も上がりましたが、期待したほどではありませんでした。なぜかというの特産品がない、魅力がある売れる物がないからです。 |
| 観光 | 59 | 観光人口50万人に向けて、どのような取り組みをしているか。 | 一番多いのはウオーキングで訪れる皆さんです。現在、30~40万人が訪れています。50万人を達成するようハーブ園を整備し、温室を魅力あるものにしていきます。また、ハーバルヘルスツーリズムはリピーターが増える可能性があります。ウオーキングもリピーターは半分くらいいます。リピーターは魅力の表れです。当町にないのは宿泊施設です。八寿荘はハーバルヘルスツーリズムの核になってもらっています。これが定着してくれば、他の宿泊施設にも受け入れてもらうような体制をとっていきます。また、広津、陸郷、ハーブ園を中心に、花の時期をシリーズ化して、イベントが単発ではなく線でつながるような形で考えていきたいです。それをうまく花とハーブにつないでいけば、必然的に人が増えていくとの思いがあります。マウンテンバイクが盛んになっているので、観光資源を掘り起こして観光交流人口に結び付けていきたいと考えています。 |
| 観光 | 60 | 外国人のマウンテンバイクの集団が道を間違えて行ってしまった。 | 町民の皆さんがSNSで情報発信して人を集め、大会をやっているようです。町としても協力していきたいです。県は次期総合5か年計画の中で、サイクルツーリズムの推進を掲げています。当町は舗装道ではなく、地形を活かしたコース整備をしてもらいたいとの要望を県に出してあります。共通の案内看板の整備は県の計画に入っています。 |
| 道路 | 61 | 歩道の雑草は刈るよりも生えない対策は考えないのか。 | 町民の皆さんのご協力により、今年2回美しいまちづくり行動デーで草取りをしていただきました。道路では環境に配慮して除草剤は使わないようにしています。道路の隙間から生えてくる雑草対策として、隙間を埋める材料もありますが、多額の費用がかかります。そのため、今後も引き続き皆さんのご協力をいただきながら行っていきかない状況です。 |

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|--------|------|--|---|
| 道路 | 62 | 南台のガソリンスタンドから歩道が全然ない。せめて南台の入り口から中之郷のバス停まで設置してほしい。 | 自治会の要望の中で上げていただければ、それを県に伝えていきます。地域の総意がまとまってから、地主のご理解も得た中で要望していただくと、スムーズに県にお願いすることができます。関係する地主の方が反対だと事業実施ができなくなってしまいますので、全体的な総意を取っていただけるとありがたいと思います。 |
| 道路 | 63 | 平出で雲海を撮影しようとするカメラマンが30人くらい一斉に並んでいた。道が狭い上に草が生えていて、道路にはU字溝も入っている。事故が起きないか心配。 | 平出口の安全対策は毎年要望をいただいていますので、都度県へ要望を上げていますが、実施に至っておりません。今後も引き続き県道整備として要望を上げていきます。 |
| 農政 | 64 | 道の駅一帯の総合整備推進とはどのような構想か。 | 道の駅は県道の東側のことを指します。一帯とはハーブセンター、ハーブ園も含めた範囲です。東側はほ場をかなり借りていろいろな物を作っています。今後そこも一体化してイメージづくりをし、特産につながるものがあれば、それも栽培していきます。また、温室もありますので有効に活用して活性化につなげていきたいと考えます。 |
| 道路 | 65 | 道の駅のトイレの臭気対策を。 | 道の駅は大町建設事務所が管理しています。県では来年度あたりから設計に入り、国からの補助により大規模に整備する構想を持っているようです。できるだけ早く改善できるよう、引き続き働きかけていきます。 |
| 橋梁 | 66 | 松川村細野へ行く橋を架けてほしい。子どもたちが町外の高校へ通うにもいいし、池田工業高校へ来るにもいい。ハーブセンターの集客にも繋がる。 | 昨年度、県の建設部長が来た際も要望しています。町村だけでは建設できないので、松川村と話をしつつ、県道に位置づけて実現できればと考えています。高規格道路が高瀬川右岸に位置づけられ、橋を架けるにも上をまたがなければいけない現実的な問題があります。 |
| 水道 | 67 | 陸郷地区の水道管が敷設されて約50年経つ。更新や敷設替えはどんな状況か。 | 水道管が古く、消火栓などが使われるとすぐに水が濁ってしまいます。何とかしなくてはいいませんが、敷設替えをすると1億円近い費用がかかります。池田から送水するのではなく、地域で水の確保ができないか水源調査を考えていますが、更新も検討していきます。 |
| 教育 | 68 | 成人式は今まで通り創造館か、それとも地域交流センターか。 | 引き続き景色の良い創造館での開催を考えています。 |
| 交流センター | 69 | 地域交流センターの維持費は。 | 実施設計時の試算では光熱水費は670万円ほどです。 |
| 交流センター | 70 | 地域交流センターがまちなかにできることは良いことだが、既存の福祉会館や多目的研修センター、創造館の今後の活用について具体的な考えはあるか。 | 創造館の講座は引き続き行っていきますが、交流センターの活用方法は町民の皆さんのご意見を伺いながら、具体的に検討していきます。創造館と交流センターでは抜本的に造りが違うところがありますので、住み分けて使っていきたいと思います。多目的研修センターはアリーナがあり運動できる機能もありますので、今まで通りの利用をしていただく考えです。福祉会館は既存の各種サークル等に引き続きご利用いただきますが、他の使い道についてもいろいろご意見をいただいていますので、今までにない使い方も視野に入れていきます。 |
| 交流センター | 71 | 地域交流センターは飲食可能か。 | フリースペース部分は飲食可能です。 |
| 交流センター | 72 | 地域交流センターの事業費は約13億円だが、国の補助金5億円を除く8億円の財源は。 | 事業費のうち4割が国の交付金で、残りの6割を町が負担します。基金から5億円を取り崩します。残りは起債です。 |
| 交流センター | 73 | 地域交流センターの平面図におはなしコーナーがあるが、やすらぎの郷との整合性は。 | 子どもたちの居場所や子が触れ合う場所はいろいろなところにあってよいと思います。様々な世代から親子交流室の要望がありましたので、おはなしコーナーとともに設置しました。読み聞かせの機会もこのコーナーで考えています。 |
| 交流センター | 74 | 地域交流センターに図書館が移ったとき、図書館の職員配置はどのように考えているか。利用者はさまざまなので、いろいろなタイプの職員がいるとありがたい。 | 現在、職員は館長を含めて3人です。今後、新図書館に移行する上で、職員体制を検討していきます。 |
| 交流センター | 75 | 地域交流センターにはコーヒーショップやレストランはあるか。 | 自動販売機の設置を考えています。中での物販は考えていませんが、外のスペースでマルシェなどができるか今後検討します。 |
| 交流センター | 76 | 地域交流センターに賑やかで楽しいところがあれば、人が来ると思う。 | 何か違う楽しみで来たついでに図書館に入ってもらおうといった仕組みも良いと思います。参考にさせていただきます。 |
| 交流センター | 77 | 地域交流センターの音響装置の置き場はどこか。 | 音響装置はステージ側面の袖舞台に置く予定です。 |
| 生涯学習 | 78 | クラフトパークに石をひいた健康道路みたいなものを20~30m作って、靴を脱いで歩いてもらうようにしてはどうか。 | クラフトパークのあり方を今後考えていきます。健康遊具的なものも大切だと思います。 |
| 生涯学習 | 79 | 町立美術館を大いに活用してまちづくりに活かしてほしい。一企業に任せて池田町のまちづくりに貢献しているか。魅力ある活力あるまちづくりに生きているか。 | 美術館では学芸員を中心にいろいろな企画を立て一生懸命やっています。すぐに町の活性化につながるわけではありませんが、小中学校の児童生徒に美術館へ来てもらい、絵画等に親しみ芸術文化に触れるなかで、将来に生きていくことを視野に入れていきます。町民の皆さんの来館者数は少ないと感じています。町民の皆さんに来てもらえる、また、愛される美術館にしていかなければいけないと思っています。 |
| 生涯学習 | 80 | 公民館や図書館は壊すのか。 | 公民館は壊し、図書館は建物を残して、用途を変えて2階に文化財資料室を予定しています。1階は教育委員会が入る構想でいます。教育会館は壊す予定です。跡地利用として駐車場等を検討しています。 |
| 生涯学習 | 81 | 球技大会、ナイターソフト、ママさんバレー等の参加チームがどんどん減っている。環境づくりも含めて活性化の具体案はあるか。 | 自治会単独でチーム編成できない場合は、他の自治会と一緒に参加していただくなど、できるだけ参加チーム数を減らさないように工夫しています。総合体育館では一般的なスポーツだけでなく多様なスポーツに取り組んでいます。一番大事なことはスポーツに慣れ親しんでもらうことだと思います。短期的には解決できない部分はありますが、町体育協会やスポーツ推進委員の会議の中で検討して対応していきます。 |
| 生涯学習 | 82 | 町のことをよく知ってもらうために「池田検定」をやしてほしい。(要望) | |

平成29年度 まちづくり懇談会(秋) 主な質疑応答一覧表

| 分類 | 通し番号 | 質問・意見・要望 | 回答・考え方 |
|-----|------|---|--|
| その他 | 83 | 昨年、ある人が草刈り中に石を飛ばしてしまい、巡回バスのフロントガラスを割ってしまった。町に交渉したところ「面倒は見れません」と断られた。こういう姿勢が美しいまちづくりにかなっているか。当事者は町がそういう態度をとるなら道路の草は刈らないと言っている。そうすると非常に問題がある。 | こちらの対応が悪く申し訳ありませんでした。以後、そのようなことのないよう十分気をつけます。 |
| その他 | 84 | あいさつは役場職員が見本をみせないといけない。あいさつをしない職員が見受けられる。こちらから「こんちわ」と言ってもモソモソと言うだけ。 | 庁議でも同様の話題が出ていて、議会議員からも指摘があり、職員自らあいさつするよう呼びかけていますが不十分ですので、しっかりあいさつができるよう徹底していきます。 |
| その他 | 85 | 窓口の人たちは役場の顔だと思うが、お金を支払うと私より先に背を向けてしまう。客として対応してほしい。 | 担当課の職員には課長を通じてすぐ指導をしました。町では職員研修計画をつくり、先日も接遇研修をやったところです。再度職員には徹底していきます。 |
| その他 | 86 | 落合橋付近のマレットゴルフ場が荒れたようになっているが、どこが管理しているか。年に2回くらいは草刈りをしたほうが良いと思う。 | 利用者がなかなかいないので、マレットゴルフ場は廃止しました。草刈りは経費がかかるため行っていません。 |